



オリンピック・パラリンピックと これまでの区の実践について

(1) オリンピック・パラリンピックについて

● オリンピック・パラリンピックとは

● オリンピック（近代オリンピック）

「近代オリンピックの父」ピエール・ド・クーベルタンの提唱により1896年から開催されている世界的なスポーツの祭典で、スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的としています。これまでに31回の夏季大会（うち3回が中止）、22回の冬季大会が行われており、2016年のリオデジャネイロ大会では、206の国・地域から11,237人の選手が参加し、28競技306種目が実施されました。

● パラリンピック

パラリンピックは障害者を対象とした、もうひとつ（Parallel）のオリンピックです。1960年から開催され、1964年は東京で開催されました。これまでに15回の夏季大会、11回の冬季大会が行われており、2016年の第15回パラリンピック競技大会（ブラジル・リオデジャネイロ）では、176の国・地域から4,342人が参加し、22競技528種目が実施されました。



● オリンピズム（オリンピックの精神）

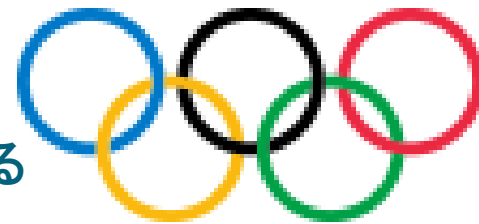
● オリンピック憲章 オリンピズムの根本原則 1

「オリンピズムは人生哲学であり、肉体と意志と知性の資質を高めて融合させた、均整のとれた総体としての人間を目指すものである。スポーツを文化や教育と融合させるオリンピズムが求めるものは、努力のうちに見いだされる喜び、よい手本となる教育的価値、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重などに基づいた生き方の創造である。」



スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献する

オリンピックで重要なことは、勝つことではなく参加することである
人生にとって大切なことは、成功することではなく努力することである



● オリンピックムーブメント

オリンピックムーブメントとは、国際オリンピック委員会（IOC）の統括のもと、オリンピックの精神（オリンピズム）に従って、スポーツを通じ平和でよりよい世界の実現をめざす活動です。代表的な活動として、ドーピングの撲滅、女性の参画、経済支援のほか、身体障害者を対象とした世界最高峰のスポーツ競技大会「パラリンピック」もそのひとつです。また、1994年にはオリンピック憲章に「環境」の項目が加えられ、オリンピックムーブメントの柱の一つになっています。

●東京1964オリンピック・パラリンピック

第18回オリンピック競技大会（東京）

昭和39年10月10日～10月24日

20競技163種目、93の国と地域から5,152人が参加

第2回パラリンピック競技大会（東京）

昭和39年11月8日～11月12日

9競技144種目、22の国と地域から238人が参加



- ▶大会に合わせて東京には首都高速道路や東海道新幹線が開通。都市機能が飛躍的に発展するとともに、日本は高度経済成長の足がかりをつかみ、世界に戦後の復興をアピールしました。
- ▶東京オリンピックでの日本人選手は、金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個、計29個のメダルを獲得しました。なかでも“東洋の魔女”と呼ばれた女子バレーボールチームは、決勝で強豪ソビエト（現ロシア）と対戦し、ストレート勝ちで金メダルを獲得。国民を熱狂させました。



- ▶東京オリンピックの功績は都市の発展や経済成長のみならず、日本にスポーツを普及させた点にあると言われています。日本サッカーリーグの誕生、スポーツクラブの一般化など、日本でスポーツが生活の一部となるきっかけとなりました。

●東京2020オリンピック・パラリンピック

第32回オリンピック競技大会

開催期間：2020年7月24日（金）～8月9日（日）

競技数：33競技

※追加種目：野球・ソフトボール、空手、スケートボード、
スポーツクライミング、サーフィン

第16回パラリンピック競技大会

開催期間：2020年8月25日（火）～9月6日（日）

競技数：22競技

※東京は世界ではじめてパラリンピックを2回開催する都市となる。



HOST CITY

大会エンブレム「組市松紋」
形の異なる3種類の四角形
を組み合わせ、国や文化・思想
などの違いがあってもそれら
を超えてつながり合うことを
イメージしたデザイン。

大会ビジョン

3つの基本コンセプト

- (1) 全員が自己ベスト
- (2) 多様性と調和
- (3) 未来への継承

新国立競技場「杜のスタジアム」

敷地面積	約113,000m ²
高さ	約47.4m
階数	地上5階、地下2階
完成予定	平成31年11月
座席数	約6万席（約8万席まで増設可能）



●気運醸成を目的とした認証プログラム

●東京2020参画プログラム (2016年10月～)

東京2020組織委員会が推進するプログラムで、東京2020大会に向けた気運醸成とその先のレガシー創出に向けた、8つのテーマ（①スポーツ・健康、②街づくり、③持続可能性、④文化、⑤教育、⑥経済・テクノロジー、⑦復興、⑧オールジャパン・世界への発信）に関する事業が対象になります。

スポンサー企業や競技会場のある自治体が申請できる「公認プログラム」と、非営利団体等が申請できる「応援プログラム」があります。



●beyond2020プログラム (2017年1月～)

内閣官房が推進するプログラムで、日本文化の魅力の発信や、共生社会・国際化に繋がるレガシーの創出につながる事業・活動が対象となります。

民間事業者や任意団体等が実施する事業・活動も認証の対象となっており、営利活動、非営利活動に関わらず、文化に関わる幅広い活動を認証します。



(2) これまでの区の実施について

●フラッグツアー

東京2020大会に向けた期待感を区民の皆様と共有し、高めていくことを目的として、オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグに関連した催しを行いました

●フラッグ歓迎セレモニー

【日時】6月3日(土) 10時～10時30分 【場所】新宿コズミックセンター

【参加者】約300名

- ▶ 釜本邦茂氏（元サッカー選手・銅メダリスト）より、新宿区にフラッグが贈呈されました。
- ▶ 釜本氏のトークショーのほか、サッカーチームに所属する区立小学校児童からの釜本氏への質問コーナーなど、アスリートと子どもたちの交流の機会を設けました。

左から吉住区長、釜本氏、酒井教育長



セレモニーに参加された皆さんもミニフラッグを振っています、会場は、東京2020大会に向けた一体感に包まれました

●フラッグ展示

【日時】6月3日(土)～6月9日(金)

【場所】新宿コズミックセンター(6/3～6/4)

新宿区役所本庁舎(6/5～6/9)

- ▶ フラッグの展示や大会PR映像の放映、フラッグツアーの紹介パネルの掲出を行いました。
- ▶ 多くの方にフラッグとの記念撮影を行っていただきました。

本庁舎におけるフラッグ展示の様子



●パラスポーツフェスタ

子どもたちがパラスポーツ(障害者スポーツ)の体験を通じて、パラスポーツの楽しさや奥深さを知ってもらうことを目的として、パラスポーツの体験イベントを行いました

【日時】1日目:6月3日(土) 11時~14時15分 2日目:6月4日(日) 13時30分~15時30分

【場所】新宿コズミックセンター 【参加者】1日目:160名 2日目:180名

- ▶パラスポーツ(車椅子バスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカー)及び体操の体験教室や、パラリンピアントークショーを行いました。
- ▶多くの子どもたちは、初めて体験するスポーツに興味津々な様子で、講師の選手たちにリードされながら元気いっぱい体を動かしていました。



車椅子バスケットボール



ボッチャ



体操



ブラインドサッカー

【子どもたちや保護者の方の声】

- ・盛り上げ役の芸人さんがいたこともあり、楽しく体験することができた
- ・パラリンピックの観戦が楽しみになった
- ・大人も参加できると良い
- ・知名度の低い競技にも関心が持てるようなイベントを行ってほしい

●全校フラッグ メモリアルツアー

東京2020大会への子どもたちの期待感を高めるとともに、思い出として形に残るよう、区立学校をフラッグが巡回し、フラッグと児童・生徒との記念撮影を行いました

【日程】6月5日(月)～6月9日(金) 【場所】区立小・中・特別支援学校 全40校

- ▶撮影した写真を基にパネルを製作し、各校に掲出するとともに、全児童・生徒に対して写真を配付します。
- ▶フラッグを間近で見た子どもたちは、2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることを実感していました。



フラッグを目にして、歓声を上げる子どもたち



最後に、フラッグとともに記念撮影

撮影した写真は、パネルとして各校に掲出されます

このマークはなんですか？
この旗はどこからきたでしょう？

パラリンピックのマーク！

リオデジャネイロ！



●東京2020大会に向けた気運醸成

東京2020大会への気運醸成を図るために、そのほかにも様々な取り組みを行っています

●東京2020大会普及啓発ポスター掲出（未就学児向け）

【期間】平成29年3月～大会終了まで 【場所】区内保育園・子ども園・幼稚園

▶未就学児が東京2020大会に親しみが持てるよう、普及啓発ポスター約1,000枚を区内保育園・子ども園・幼稚園に掲出しています。

【保育園・子ども園・幼稚園の声】

- ポスターについて：オリンピックのマークだとすぐに分かっていました。かなが振ってあり、子どもが自分で読んでいた。パラリンピックを知らない子もいた。
- 区イベントへの要望：オリンピック・パラリンピアンとの交流。世界の国の子ども・文化との交流。実際の競技・演技の見学。
- 園独自のオリパラに関連した取り組み：日本文化の体験（茶道等）。各種スポーツ体験（サッカー・ボッチャ・ゴールボール等）。国際理解のきっかけとなるような遊び（国旗カード・地球儀等）。
- 区に期待すること：区としての大会への関わりや進捗状況、課題等を教えてほしい。スポーツができる機会の確保。国際交流・障害者理解の機会の提供。



●Be The HERO展示

【期間】平成29年3月29日～7月末

【場所】株式会社ロッテ新宿工場(百人町二丁目・戸山小学校裏門前)

▶(株)ロッテ新宿工場の建屋解体の際の仮囲いに、浦沢直樹氏などの漫画家の描いたパラスポーツのイラストを展示しています。

▶このイラストを見て、自分のパラスポーツ体験を話題にしていた児童もいました。

「新宿区はパラスポーツを応援しています」というメッセージとともに

